

総務常任委員会

3月12・13日、所管の予算・陳情審査を行った。

総務課

問 大山町情報通信事業の特別会計は。

答 事業費の歳入歳出の明確化を図るため。特別会計で運用する。公債費を9年間で2億1千万円ずつ毎年償還していく。

人権推進課

問 同和教育推進協議会が形がい化していないか。

答 同推協は自主的な民間団体。部会が各地区で統一されていない。中味も各支部によって違いがある。一部、会費制の導入が議論されている。

問 住宅新築資金は。

答 滞納処理が大きな課題。滞納繰越金は3億円あり、保証人、また弁護士等の活用も考慮しながら、いつそうの徴収率向上を図る。

税務課

問 各種税金の滞納対策は。

答 50万円以上の滞納者の3分の1を面談した。残り1000人は新年度、早々に対応し、分納計画を立ててもらい、徴収率の向上に努める。

企画情報課

問 住民自治組織の育成は。

答 自治法が改正され、認められるようになった。どういう組織が望ましいのか、盛り上げてもらえる方策等、これから検討していきたい。

教育民生常任委員会

3月12日から14日の3日間、付託案件9件、陳情1件の審議、所管の事務調査を行った。

幼児教育課

問 《子育て講座》子育て講座など良い企画があるが、合併して広域になった分、参加者が減っているようだが、参加者を増やす工夫は。

答 参観日や保護者会の「子育ての喜び」が実感できるように

日に合わせ実施しているが、思うように参加者が増えない。鋭意努力したい。

学校教育課

問 《コンピュータ》学校のコンピュータがリース契約になってい

答 参観日や保護者会の

るが、一括購入した方が費用が安くなるのではないか。

社会教育課

答 新築した名和小学校では購入した。他校でもリース契約終了後に検討していきたい。

《女性団体補助金》

問 女性団体への補助金が大幅に削減された。活動も活発だがなぜか。

答 県外研修が多く、その分を減額した。補助金を一本化した。振り分けには配慮したい。

診療所事務局

《案内看板》

問 大山ロリハビリセンター心療内科のPRが十分ではないか。案内看板などの設置は。

答 総合的に考え検討したい。



同和教育推進協議会の研修



「子育ての喜び」が実感できるように